

新年おめでとうございます  
養護施設長 斎藤亮

今年も宜しくお願ひいたします  
新年明けましておめでとうございます。新しい年を迎え、愛友園職員一同  
新たな気持で業務に取り組んでいきたいと思っております。

令和六年度は三年に一度行われる介護報酬改定が予定されています。介護保険制度は、少子高齢化や生産年齢人口の減少、人手不足や物価の高騰などを要因とした様々な課題を抱えておりますが、改定される内容が利用者・職員にとつてより良い内容になることを願つて止みません。

また、新型コロナウイルス感染症の高齢者施設に対する脅威は何ら変わつておらず、法人として細心の注意をはらい感染対策を実施しております。今年も関係する皆様方のご支援・ご協力を賜り誠実に施設運営に努めてまいります。



**発熱時どうしてますか？**

昨年からインフルエンザが猛威を振りかざしています。突然の熱、すぐには解熱剤を使用した方が良いのでしょうか？

愛友園では利用者の方が発熱した時は、嘱託医の指示で、水分や食事が摂れている時には様子を見ます。発熱は、体の中でウイルスや細菌の増殖を抑える為の防御反応だからです。安易に薬に頼らず、自分の免疫力を信じる事も大切です。但し、食事が摂れない時や体力が落ちている時には薬の力を借りまし

## ◆ 令和5年度 感染対策スローガン ◆

- ・マスクの下から伝わる笑顔  
あたたかい気持ちで 感染対策
- ・気のゆるみ ウィルスいつも狙ってる  
感染対策 しっかりと
- ・よく食べて、寝て、楽しむ、笑顔が真の薬なり
- ・毎日のうがい、手洗い、体調管理  
あなたの予防がみんなを守る
- ・ウィルスは 勝手に手・指に無断で便乗！  
こまめな手洗いでストップ！！



特養に入所されている

関谷八重子さんは、大正

九年八月生まれの一〇三

歳です。ご本人の調子が

良いときは、たくさんお

話してくれたり、行事に

参加されたりしています。

息子さんが面会された際

は、大きな声で米作りの

事などをお話しになつて

いたそうです。「一年分

ぐらい話しました」と息子さんが笑顔で報告して

下さいました。

関谷さんに「長生きの秘訣は何ですか?」と質

問をしてみました。すると関谷さんは、「あまり

心配しないこと。無理しないこと」と笑顔で語つ

てくれました。食事はご自身でスプーンを使い、

好き嫌いもなく何でも美味しそうに召し上がつて

いるのも元気の秘訣なのかもしれません。

これからも明るく元気に過ごして頂きたいと職

員一同願っています。



十二月二十七日、毎年恒例の餅つき会を行いました。日本の伝統食お餅。利用者の皆さんも大好きです。喉につかえたり危険な食べ物でもあります。が、安全にお餅が提供できるよう工夫しています。



始めに、介護士・看護師・栄養士で食べられる方・食べられない方の餅提供者リストを作成し、会場全体、餅をつく時、食べる時など安全責任者を事前に決めておきます。

当日は職員全員で見守り等、協力し事故防止に努めています。「ヨイショ!」のかけ声で会場は大盛り上がり。

杵と臼でついたお餅は柔らかく、食べやすい食感になります。



皆さんつきたてのお餅に美味しいと満面の笑みで、ほっぺたが落ちてしまいそうでした。

## 美味しく・安全に お餅を食べる工夫

### 長年続いている 食を楽しむ行事の紹介

#### 〈調理クラブ〉

利用者さんと一緒に簡単なお菓子作りを行います。年末は、そば打ちに挑戦しました。

生地から手作り、麵も上手にカット出来ました。手打ち蕎麦の味は格別で、みなさん美味しいと喜ばれています。

た。

#### 〈喫茶〉

季節に合わせた手作りのおやつと飲み物を提供しています。十二月はクリスマスケーキ、一月は鏡開きにお汁粉を提供しました。



ビールや日本酒・ジュースとおつまみを用意します。またカラオケも一緒に行います。みなさん歌が大好きです。歌うことが好きな人、歌を聴くことが好きな人、それぞれの楽しみ方で良い気分転換になっています。



## 偕楽園公園サポーター活動

平成十七年より、県営都市公園ボランティア団体として「公園サポーター」の認定を受け、偕楽園公園の定期的な巡回活動、環境整備を行っています。この活動は、地域との繋がりを大切にする社会貢献活動としてだけではなく、利用者の皆さんとのレクリエーション活動の一環としても実施しております。散策を楽しむ良い機会にもなっています。



広々とした公園内を巡回中！



ピンクの腕章が公園サポーターの証です



窯で焼いたら完成です！  
皆さん、素敵な作品に仕上がりました★



釉掛けを行い、作品に色付けていきます



【ラジオ体操】

## 初窯作品づくり

十二月より初窯作品づくりを始めました。

普段はなかなか陶芸に

参加出来ない職員も挑戦する良い機会となつております。

食器や花瓶など自分好みの物を作成し、焼き上がりを

楽しみに待つ…年明けに窯を開けて自分が

作り上げた作品と初対面した時、一層の喜びを感じます。



特養の笑運動会を十月に実施しました。車椅子の方が多いため、出来るだけその場で上半身をメインに動かせる競技を考えました。

運動会の定番競技の玉入れは、台車に乗せたカゴが参加者の前を通り、近くにきた時に玉を投げ入れるスタイルにしてみました。普段穏やかに過ごしていました。普段穏やかに過ごしている利用者さんも、競技が始まると俊敏な動きをするので、驚かされます。パン食い競争も大盛況でした。

参加者の状態に合わせた競技内容にすることで、利用者さんも職員も皆で楽しみながら運動できた事は良かったと思います。

## 笑運動会

株・茨城県社会福祉事業協力会会員様  
茨城県共同募金会様

飛田 安代様  
石崎 トミ様  
小林 茂代様  
ハセツブワーン様

## 寄贈

加倉井 亨様  
八文字 智恵子様

園部 司様  
大森 志津子様

岡崎 花恵様  
水戸市高齢福祉課様

加藤木 あいおいニッセイ同和  
ボラーノティア  
インシヌアランス様

村山 悅子様  
武藤 孝嘉様  
茨城県立水戸第三高等学校  
家庭クラブ様

野田 サヨ子様  
美代子様

ありがとうございます



令和5年7月16日～令和6年1月15日

- 2月 節分(豆まき)  
デザートバイキング
- 3月 ひな祭り  
お彼岸
- 4月 お花見会
- 5月 特養：小ドライブ  
養護：ハイキング
- 6月 ランチバイキング
- 7月 花火会

## 行事予定（令和6年2月～7月）

※新型コロナウイルスをはじめとした感染症の動向により、変更になる可能性があります。

## 特養における苦情解決体制と内容について

令和五年一月から十二月まで、ご家族から苦情として取り上げられる内容はありませんでした。

一方で、ターミナルケアを行っていた利用者さんのご家族から、「できるだけ多く面会を重ね、可能であれば直接ふれあい、コミュニケーションを図っていきたい」とのご要望を受けました。要望受け当初は、面会制限も現在より厳しく行っていた中で、介護士・生活相談員・看護師等各専門職で話し合い、ご本人・ご家族に対し、柔軟な対応を図つて行くこととし、ご家族からも笑顔と感謝の言葉をいただきました。

今後も感染症への警戒は緩めずに、利用者さんやご家族が安心できるような支援・介護を継続していきます。



愛友園では、長年出張散髪をお願いしている理髪店様がありま  
す。寝たきりの方や車椅子の方は、職員同行でもお店に行く事が困  
難です。そのため、森川理容店様・中澤理容店様に毎月お越しいた  
だき、散髪をお願いしています。

施設内には、理容室があるのでそちらのお部屋を利用したり、特  
養フロアでは車椅子のまま散髪をしていただいています。利用者  
の方々は、理容師様と色々なお話をしながら散髪していただいて笑顔  
が絶えません。

いつも、ありがとうございます。

## 感謝

## 編集後記

※寒くなり、愛犬とたつでぬくぬく過ごす毎日です。愛犬が、こたつで気持ちよさそうにイビキをかいて寝てる姿に、日々癒されています。

(S・Y)

※ついに家を購入しました。何度も打ち合わせを重ね、ようやく今月地鎮祭です。引っ越しも含め、生活環境が大きく変わる一年となりそうです。

(M・I)

※四年間伸ばした髪を三十センチ切りました。切った髪は、医療用ウイッグに寄付しました。

(Y・O)

※悪いことは全て厄年のせいにしてきましたが、ついに後厄の年から抜け出せる二〇二四年、辰年。天高くのぼる龍のよう、運気も上昇すること願いたいです。

(Y・T)

※二〇二四年、みんな健康でありますように！毎日三食と十分な睡眠をとり、適度な運動をし、笑顔で過ごしますよ。

(S・I)